



◆アレルギー支援ネットワーク 通信◆



NO. 111 2016.3.1

屋間の日差しもあたたかくなり春の訪れを感じるようになりました。

1年もあっという間に過ぎ今年度も最後の月となり、入園・入学の準備に追われる方も多いとおもいますが、残りの日々を充実させ楽しく過ごせるようにしていきたいですね！

それでは、今月のメルマガもお楽しみ下さい♪

===== も く じ =====

- 1、今月遂に開催！！「みんなで行こう♪第11期アレルギー大学記念講演会&アレルギーっ子のフェア」
 - 2、リレートーク「栄養指導実施クリニックの紹介」第2回 竜美ヶ丘小児科 鈴木 研史院長
 - 3、賛助会員からのメッセージ ★株式会社コーワ『ふとんクリーナー ひなた』★
 - 4、東海アレルギー連絡会 開催のお知らせ
 - 5、各地からのお便り 第10回「先輩ママに聞く「食物アレルギーのつきあい方」(アレルギー教室)
NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷 利恵
 - 6、インターネットアレルギー大学のご案内
 - 7、書籍『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪
 - 8、【2016年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ
 - 9、アレルギーっ子の防災 第29回「防災講座-9:地震対策を知る(自宅の耐震-1)」防災士 中根輝彦
 - 10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ
 - ★「食物アレルギー講座～親子の関わり・食への考え方～」RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 石川★
 - ★★「みんなで学ぼう♪アレルギーin 長久手」ぷちヴェール長久手 大平 亜依★★
 - ★★★「あそぼうさい・まなぼうさい」JT NPO 助成事業 親子防災イベント★★★
 - ★★★★「みんなで学ぼう災害の備え～アレルギー疾患を持つ子どもの災害対策～」
あま市アレルギーの会 仲 佳代★★★★
 - 11、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
 - 12、Gooddo (グッドゥ) でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！
- =====

1、みんなで行こう♪第11期アレルギー大学記念講演会&アレルギーっ子のフェア

「第11期アレルギー大学開講記念講演&アレルギーっ子のフェア」

開催日：3月20日(日) 10:00～16:00

会場：名古屋国際会議場 2号館 展示室 211・212

今年度も内容盛りだくさんの内容です♪

●午前講座「アレルギーはどこまで予防できるのか?～今わたしたちに出来ること～」

ご好評につき定員に達しましたが、増席しました！！

お早めにお申し込みください。

●管理栄養士による「栄養相談コーナー」

まだ余裕があります。現在、医療機関で食物アレルギーのお子さんに栄養指導を行う管理栄養士が対応させていただきます。不安なこと、お困りのことなどをお気軽に相談にいらして下さい。

●「わくわくスタンプラリー抽選会」

今年の目玉商品は「加湿空気清浄機」です！！その他にも沢山すてきな景品をご用意しております。

詳しい内容はこちらのチラシでご確認ください。

http://alle-sien-net.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2016/01/11ki_fair_flyer.pdf

お申し込みはこちらから

<http://www.alle-net.com/news/11kifair/>

皆様のお申し込みをお待ちしております。

3、2、リレートーク「栄養指導実施クリニックの紹介」 第2回 竜美ヶ丘小児科 鈴木 研史院長

私は、岡崎で小児科クリニックを開業する前は、藤田保健衛生大学で小児科一般診療をおこないながら新生児の救急・集中医療「いわゆる NICU(新生児集中治療室)」を中心に診療、学生の教育を行ってきました。まさしく、テレビで放映されていた「コウノドリ」の今橋先生でした(ドラマよりもっときつかったです^^)。アレルギーと関わりが深かったのは、藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科に勤務したときでした。宇理須教授のもと、様々な重症のアレルギーをもつお子さんと出会い、アレルギー疾患への対応を経験することができました。現在は、日常の小児外来診療での救急の必要性を感じ、AHA(アメリカ心臓協会)の BLS(一次救命処置)、PEARS(小児の緊急事態に対応する救命処置)、PALS(小児二次救命処置)のインストラクターの資格を取得し指導を行っていますが、そこで救急医療の専門医や看護師、救命救急士、自衛官など子どもの救急に関わる様々な方と繋がりができました。

当院は、子どもの全人的な診療を行うことを基本にしている小児科専門のクリニックで、標榜は「小児科」のみです。アレルギー支援ネットワークの医療機関では、唯一？アレルギーを専門またはアレルギー科を標榜していない医療機関です。

このため、栄養指導は、アレルギーだけではなく、体重増加不良、肥満、鉄欠乏性貧血、離乳食指導、便秘、偏食など子どもの栄養全般を管理栄養士の上田さんに対応していただいています。また、月に1~2回当院をかかりつけ医としている保護者の方との座談会形式の勉強会を行っています。一年間を通して様々なテーマで行っていますが、栄養に関するテーマのときは、上田さんにも講師をしていただき、実践的で工夫を凝らした内容は好評で、予約がすぐうまってしまう人気講座のひとつになっています。

また、当院にはクリニックから誕生した初めての小児救急看護認定看護師がいます。この研修課程の内容は、知識はもとより、小児科外来診療に必要な考え方や精神を叩き込まれる内容で、当院が目指す小児外来診療にはなくてはならない存在であり、今やクリニックだけではなく地域子ども達を取り巻く小児救急医療にもかかせない存在になりつつあります。ちょうどこの原稿を書いている今月は、あいち小児保健医療総合センターのアレルギー科で伊藤浩明先生はじめたくさんの方から勉強させていただいています。大変親切にご教授いただき一部ではありますがその内容も報告してくれました。ありがとうございます。

そして、園医をしている保育園の看護師や保育士さんとの勉強会が評価され、市の保育園の看護師や保育士、養護教諭とも勉強会などを重ね連携をしています。この他に、岡崎の小児三次医療を担う唯一の市民病院救急外来と小児科という信頼できる医療機関との連携が強いことは大変心強いです。

このように、保護者と医師、看護師、事務、管理栄養士、保育士、養護教諭等々子どもと関わる多職種の方々と手を繋ぎ、子ども達の健やかな成長を見護っていくことを理念として、地域の小児科クリニックとして質の高い医療が提供できるよう一同頑張っています。

今後とも、よろしくお願ひします。

【竜美ヶ丘小児科 HP】

<http://www.tatsumigaoka-child-clinic.jp/>

3、賛助会員からのメッセージ ★株式会社コーワ『ふとんクリーナー ひなた』★

株式会社コーワ「ふとんクリーナー ひなた」

弊社は、およそ半世紀にわたり、国内有名メーカー家電製品（電気掃除機、空気清浄機、エアコンなど）の開発に携わってきた総合ブラシメーカーです。この度、弊社クリーン技術を活かす自社商品の開発を始めました。

その最初の商品として、アレルギーにお悩みの皆様のお役に立てる「ふとんクリーナー ひなた」を発売します。（4月発売予定） 写真1



キャッチしたダニを100%退治する「ふとんクリーナーひなた」

アレルギー性ぜん息・皮膚炎の7～8割はダニ・ハウスダストが原因といわれています。家の中で、ダニが多くいる場所は、ふとん、枕、じゅうたん、ソファ。ふとんのダニ対策がとても大切です。

特にふとんの中では、ダニの繁殖がくり返されています。ダニが一生を終える度に、アレルギーの原因となるフンや粉々になった死がいをまき散らします。生きたダニ・卵を上手に掃除して、繁殖を防がなければなりません。

「ふとんクリーナー ひなた」は、ふとんのアレルギー対策のために開発されました。



イラスト1

●ひなたの特徴●

(1) 熱風循環機能

お掃除後、60℃の熱風を循環させて、吸いとったダニと卵を100%退治（※）

「熱風循環機能」は、他のふとんクリーナーにはない「ひなた」だけの機能です。ふとんクリーナーで吸いとったダニや卵は、強い生命力と繁殖力によって、クリーナーの中で生き続け、繁殖もします。ダニを確実に死滅できるのは60℃の熱だけ。「ひなた」は本体内部のモーター熱を利用して、ハウスダストを60℃の熱風にさらし、ダニも卵も確実に死滅させます。



写真2

(2) セパレートタイプ

ふとんの上をラクに動ける軽さ

ふとん掃除の「しやすさ」を追求した、ノズルと本体が分かれた「セパレートタイプ」。ふとん掃除特有の「重さ」を「手元の軽さ」で解消しました。ふとん掃除の負担が少ない、小まめに使えるふとんクリーナーです。



写真3

(3) ワイド吸引ノズル

大きなノズルでふとん掃除を時短

吸い口面積は、ふとんクリーナーとしては最大級。一度に広い面積を掃除できるので、ふとん1枚当たりの掃除時間を大幅に短縮。重量の軽さと相まって、掃除したいところを「確実に」「早く」「楽に」掃除できる使用感を実現しています。



写真4

(4) ツインブラシ

いろいろな種類のダストをキャッチ

「たたきブラシ」と「回転ブラシ」の2つの大きなブラシのコンビネーションで、ふとんを傷つけずにハウスダストを効率よく集めます。また、ふとんに吸い付きにくい構造で、他のふとんクリーナーでは難しかった掛け布団の掃除もカンタンにできるようになりました。



写真5

(5) その他

- ダストフィルターに市販のティッシュペーパーが使用できます。
- 排気にHEPAフィルターを採用。
- ブラシ、ダストフィルター、ダストカップ、ブラシカバーは水洗いできます。

「ふとんクリーナー ひなた」に関する最新情報をHPで掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.cleanmaster-hinata.jp/>

(※) ヒョウヒダニはアレルギー症状の原因となります。ひなたは吸引したヒョウヒダニやその卵を熱風循環により60℃の高温にさらし、確実に死滅させます。(株式会社ビアブル調べ <http://viable.sakura.ne.jp>) 健全なヤケヒョウヒダニの成体60個体をダストボックス内に入れ、室温約25℃で熱風循環運転を行い、運転終了後に生死を確認する試験を3回繰り返した際の死滅率を示します。卵の場合も60個体で同様の試験を行い、所定時間静置後に孵化を確認する試験を3回繰り返した際の死滅率を示します。試験条件により死滅率は異なる場合もあります。

4、東海アレルギー連絡会 開催のお知らせ 東海アレルギー連絡会・事務局長 中西里映子

東海地域には、約40の患者会が活動していますが、そのうちの30近くの団体が、「東海アレルギー連絡会」を組織し、年に4～5回の交流会を開催、横のつながりを持っています。

主には、南海トラフ地震に備える「アレルギーっ子の災害対策」、「園や学校の給食におけるアレルギー対応」などについて、勉強会や情報交換、交流をしています。

今年度は特に、真如苑の助成金をいただき、「東海地域のアレルギーの会(患者会)と、各地の災害ボランティア団体・防災課をつなぐ事業」実施し、4つの地域で大きな成果を上げています。

つきましては、その事業の報告会をして、他地域における災害対策普及活動の参考にしていただくことを目的に、第4回の交流会を、下記のとおり開催します。多くの地域の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2016年3月26日(土) 13:30-16:00

場所 緑生涯学習センター 視聴覚室

議題 真如苑助成金「東海地域のアレルギーの会(患者会)と、各地の災害ボランティア団体・防災課をつなぐ事業 報告会

ゲスト 認定NPO法人レスキューストックヤード
常務理事 浦野 愛 さん

東海アレルギー連絡会に所属している会の方で興味関心のある方は、どなたでも何人でも参加できます。

患者会のない地域の方は、個人の参加でも大歓迎です。

参加希望の方は、info@alle-net.com までお願いします。

5、各地からのお便り 第10回「先輩ママに聞く「食物アレルギーのつきあい方」(アレルギー教室)

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷 利恵

陽射しが春めいて来ましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

NPO 法人千葉アレルギーネットワークでは千葉県の委託を受け、1月にアレルギー教室を千葉市内2回と茂原市の合計3回開きました。

初回は朝日新聞が取材に来てくださり、掲載されました。幼稚園、小学校入学前でアレルギー対応が気になる方、食物アレルギーと診断を受けたばかりで今後がどうなっていくのか不安な方、色々なお母さん達が集まりました。

最初に桐谷からお話しをさせていただいて、その後の交流会では皆さん一人一人気になることを話したり、質問をしたりして不安の解消や具体的なアドバイスをお互いに受けられて、とても好評でした。

「食物アレルギーの入学準備マニュアル」と「アレルギー先輩お母さん達からのアドバイス」を公開しております。入学前にぜひご活用ください。

<http://www.chiba-allergynet.jp/news/post-1054>

「食物アレルギーの誤食&ひやりはっと集」は今月末までダウンロード出来ます。期限がございますので気をつけてください。4コマ漫画をたくさん使っていますので、お子さんでも読みやすい内容になっています。

<http://www.chiba-allergynet.jp/page-900>

年(平成28年)1月18日 月曜日 享月 薬行 印刷 第3種郵便物認可

アレルギーの心配 先輩ママ解決

佐倉のNPO 交流会・冊子作成

「先輩ママに聞く」会で、子どもの心配事を話す母親たち。千葉市中央区弁天3丁目の市生涯学習センター



入学や入園を間近に控え、食物アレルギーのある子を持つ親たちにとって、心配事が募る時期。佐倉市のNPO法人千葉アレルギーネットワークは、交流会や冊子作りなどで理解を促す活動を続けている。副理事長の桐谷利恵さん(51)は「親は大変だけど、頑張りすぎないで」と呼びかけている。

14日、千葉市内で交流会「先輩ママに聞く食物アレルギーのつきあい方」があった。母親たちの心配事や不安に、「先輩ママ」が対処方法を教え合う。今春、小学5年の男児がいる母親が「宿泊学習があるので心配」と話すと、別の母親は「調理責任者に相談したら大丈夫」「事前に宿泊施設

「先輩ママに聞く」会には19日午前10時から茂原市押日のアツル幼稚園、21日午前10時から千葉市中央区弁天3丁目の市生涯学習センターでも開かれる。参加無料。問い合わせ、申し込みは同NPO(070・5019・3998)へ。(市田孝)

「頑張りすぎないで」理解広める
「上見に行ってみたら」などアドバイスした。桐谷さんも長男(21)が生後6カ月の時に食物アレルギーとわかり、県立病院内に入院した。現在はピナツなど一部を除いて食べられるようになったという。「私自身、失敗ばかりしていたお母さんだったのでこの活動をするきっかけになった」と話す。

同NPOは県内の患者会や家族会、市教委、市役所などにアンケートした結果をもとに、冊子「食物アレルギーの誤食&ひやりはっと集」(http://www.chiba-allergynet.jp/page-900)が10月までダウンロード可)を作成した。月1回、食物アレルギーの原因となる7品目の食材を使わないランチを提供するノンカフェを四街道市で開くなどの活動を通じて、啓発活動が続いている。

同NPOは、食事の記録や食後の症状、投薬などを日記につけてみる▽自分の判断で勝手に原因食品を除去しない▽医師の診断のもとで食べられるものを増やす▽などを勧める。「失敗して他人に話さないほど落ち込むこともあるが、人間だから当たり前のこと、同じ心境的親たちが関わることでも少しでも解決できれば」。

食物アレルギー
主な原因食品は卵、牛乳、小麦、甲殻類、ソバなど。じんましんやせき、目が腫れるなどの症状が現れる。血圧低下や意識消失を伴う重い症状「アナフィラキシーショック」の状態に陥ると命に関わることも。緊急時には自己注射薬「エピペン」を打つと和らぐとされる。

2012年12月、東京都調布市で乳製品のアレルギーがあった小学5年の女児が給食時の誤食で亡くなる事故が起きた。

6、インターネットアレルギー大学のご案内

インターネットアレルギー大学は、アレルギー大学は日程が合わない、会場まで遠い、託児がないと受講できないという声にお応えして、インターネットを介して、在宅のままアレルギーについて学んでいただく通信教育講座です。講座は「第9期アレルギー大学 愛知会場」での講義を配信しております。アレルギーの基礎知識から、園や学校などにおけるガイドラインの解説、集団給食、食育などのアレルギー全般を各専門分野で活躍中の全国トップレベルの講師陣が熱心に伝える満足感たっぷりの講座です。コースは初級から上級までございます。1年間の受講期間中はいつでもインターネット（動画配信）で復習できます。

この講座によって皆さんが、アレルギーに対して正しい知識を得て、ご活躍されることを願っております。

詳しい内容はこちらのパンフレットでご確認ください。

http://alle-sien-net.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2013/03/net_9alledai.pdf

お申し込みはこちらから

<http://www.alle-net.com/i-alledai/i-alledai08-01/>

皆様のお申し込みをお待ちしております。

7、書籍『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪

～あいち小児保健医療総合センターで、これまでに蓄積してきた食物アレルギーに対する食事指導のノウハウをまとめた一冊～

本書は、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会（2014年6月28日～29日、名古屋）において発行した記念誌を、認定NPO法人アレルギー支援ネットワークから再発行したものです。伊藤浩明先生監修の下、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科で実際に使用している資料を「資料編」と「解説編」にまとめた一冊です。

昨年11月の発売からまもなく1年。第1刷は半年ほどで完売し、第2刷入荷後も日本全国からたくさんのご注文・お問合せを頂戴しております！通常はアレルギー支援ネットワーク直販のみとなっておりますので、ご注文は下記URLよりお申し込みください。ご注文をお待ちしております。（関連学会等では書店にて委託販売をお願いしている場合もございます。）

♪ご注文はこちらから↓↓♪

<http://alle-net.com/cart/book3/cart.cgi>

【※ご注意※】

この「攻略法」は原則として、各医療機関の医師の診断と指導の下に管理栄養士が食事指導を行うことを想定して作られています。食物アレルギーの基礎的な内容を網羅した解説ではありませんので、一般的な知識は成書や研修会などで学習した上でご利用ください。一般の方は必ず主治医の指導の下でご活用下さい。

8、【2015年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ

学校や園でアナフィラキシーのリスクを持った子どもたちへの対応が、教育・保育の現場で大きな課題になっています。教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を2015年度より企画して大変好評を頂いています。

2015年度の講習会開催日のご案内を致します。

日程は、2016年3月24日（木）に開催致します。

会場・開催時間・内容等はチラシ内容をご確認の上お申し込みください。

9、アレルギーっ子の防災 第29回「防災講座－9：地震対策を知る（自宅の耐震－1）」防災士 中根輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。

今回から、この防災講座も「地震を知る」シリーズから「地震対策を知る」シリーズへと変わります。まずは「命を守る、けがをしない」ための対策を数回にわたってお話します。

先回は、地震が発生するとどんな被害が出るのかいろいろと書き連ねました。その中でも最大の被害と言え、なんといっても人命。突然に人生が終わってしまう無念さ、取り返せない悔しさ…。何としても防ぎたい。

対策はいろいろと考えられますが、最優先としたいのは自宅の耐震補強です。1日24時間のうち、滞在時間が最も長く、時間比率的にも自宅で地震に襲われる確率が高いと言えます。また、睡眠中は1日の約3分の1を占め、とっさに避難行動に移れないもともと無防備な時間帯となります。

また、個人資産は他人が手を付けられるはずもなく、所有者自身が対策するよりありません。マンション・アパート・公営住宅などは、契約等により自分の自由裁量で対策をすることができない場合でも、オーナーや自治組合などに働きかけて改善要望を打ち上げるなど、決して他人任せにせず、自分が納得できるかどうかを自分で判断し、その結果に責任を持つという心構えで臨みましょう。納得できない場合は転居も視野に入れましょう。

東北地方は何度も大きな津波に襲われました。その都度、内陸へ、高台へと移住して、東日本大震災の津波からは逃られたという方もいます。

1) 住む地域を選ぶ

懸念される災害と被害予想、過去の災害について調べ、許す限りリスクの少ないところで暮らしましょう。新居を構える、転居する機会のある方は、利便性や経済性だけでなく、安全性も評価条件に入れましょう。

2) 住む土地を強化する

分譲住宅地として開発されたところは、造成前の状況がよくわからない場合もあります。購入契約をする前によく調べた方がよいでしょう。昔は池や沼、田んぼだったというようなところは液状化や地盤沈下の被害が発生するかもしれません。図書館で地域の歴史や地形に関する書物・資料を調べるとわかる場合もあります。業者に尋ねても都合の悪いことは答えてくれないでしょう。東日本大震災では千葉県に分譲地が被災し、購入して数年というのに、損害の負担を強いられたところもあります。

基礎杭を打ち込んだり地盤改良剤を利用したりする対策が考えられます。いずれも専門的な内容となり、費用も相当かかりますので、建築業者とよく相談しましょう。

田んぼを埋め立てた宅地に基礎杭を打ち込む工事を自ら業者に依頼し、提案された見積もり内容に対して、さらに強化するよう逆提案したマイホームオーナーもいます。

数十年に一度、一生に一度くらいしかできない対策です。費用も考えあわせて後悔しない対策をしましょう。

次回も引き続き、自宅の耐震強化対策について考えます。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

Twitter : @TeruhikoNakane

facebook : teruhiko.nakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★「食物アレルギー講座～親子の関わり・食への考え方～」RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 石川★

食物アレルギーっ子の食事 どうやって食べさせていったらいいんだろう。離乳食は、どう進める？
少しずつ食べ始めたけれど、なかなか食べてくれない…。やっと食べられるようになったのに、嫌いみたい…。
でも、やっぱり美味しく、楽しく食べていきたい。お母さんたちの悩みは様々ですね。
食べ物と親子の関わりについて、食物アレルギーに詳しい管理栄養士さんから そのヒントを学びましょう。
ぜひ、お子様と一緒に ご家族みなまでご参加くださいね。お待ちしております。

日時 平成28年3月5日(土) 10:00-12:00

講師：小田 奈穂 先生《管理栄養士 ・ 小児アレルギーエドゥケーター》

日時：2016年3月5日(土) 10時～12時

場所：豊橋市総合福祉センターあいつピア 児童室

(〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町115 / Tel:0532-52-1111 (代))

<http://toyohashi-shakyo.or.jp/wordpress/shakyo/shisetsu/aitopia>

参加費：300円

申し込み不要。直接会場に起こし下さい。

お問い合わせ：RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会：rinrintoyohashi@yahoo.co.jp

ブログ：<http://rinrintoyohashi.dosugoi.net/>

10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★★「みんなで学ぼう♪アレルギーin 長久手」ぷちヴェール長久手 大平 亜依★★

近年、子どもも大人も増加しているアレルギー。
症状・診断・対応方法から最新事情まで、一緒に学びましょう！

【会場】

長久手市福祉の家2F 集会室

【日時】

3月6日(日)

9:30 受付開始

9:50 開演～12:00 終了

☆プログラム詳細はちらし参照

【参加費】

大人200円(資料代、会場費)

託児はありませんが、

お子様と気軽にお越しください。

【講師】

あいち小児保健医療総合センター
アレルギー科 田上 和憲先生

【申込み方法】

・ご氏名・参加人数（大人〇名、小人〇名）・電話番号を
下記へメールください。

ぷちヴェール長久手

10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★★★「あそぼうさい・まなぼうさい」JT NPO 助成事業 親子防災イベント★★★

地震の瞬間に「いのち」を守るためには、地震が起こる前におこななければならないことや、心がけておいた方がいいことが、沢山あります。もうすぐ起こると言われている大地震。おうちでの備えは万全ですか？いざという時、お子さまが一人でも勇気をもって災害に立ち向かえるような「ワザ」を遊びながら楽しく学べるイベントです。ぜひご家族でご参加ください。
当日は、今年度緑区内で行ってきた防災プログラムの報告会も開催致します。合わせてご参加ください。

日時 平成28年3月6日(日) 11:00-16:00
場所 ヒルズウォーク徳重ガーデンズ 「ヒルズ棟 1F ヒルズコート」
内容 地震に役立つ「ワザ」を子ども防災プロジェクトチームが伝授します！
受付 ヒルズ棟 1F ヒルズコート（最終受付 15:30）
対象 中学生までのお子さまのいるご家族 ※親子、高校生のご参加も大歓迎です。



「あそんでまなべる 体験ブース」

●じしんだゾウ!

地震のゆれを体験してみよう！
ゆれてる時に正しい行動をとることができるかな？

●まっくらだゾウ!

ていでんだ！電気が消えた！
まっくらな部屋から脱出できるかな？

●きんが いっぱいだゾウ!

地震がおきた時危険は所はどこ？
安全な所は？地図を見ながら調べてみよう!

●つってみたゾウ!

ひなんじょで使う非常持ち出し袋に
入れるものを防災つりまじりてつってみよう!

●ひなんするゾウ!

ひなんするまでの道をすごろくで進んでいよ。
ゴールのひなんじょまでキミはたどりつけるか?!

10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★★★「みんなで学ぼう災害の備え～アレルギー疾患を持つ子どもの災害対策～」

あま市アレルギーの会 仲 佳代★★★

もうすぐ東日本大震災から早いもので4年になります。

東海地域は、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、もしもの時に備えが必要です。

地域でどのような対応がおこなわれるのか、知ることで備えていきましょう！

日時 平成28年3月12日(土) 13:30-15:30

場所 甚目寺公民館 ・視聴覚室(3階) (あま市甚目寺二伴田65番地)

内容 ①食物アレルギーとは あま市民病院 小児科部長 菊池 哲 先生

②あま市の防災について 安全安心課

③災害救援ボランティアセンターについて 社会福祉協議会

④あま市での防災活動 あま市防災ネット 会長 福田 學 さん

⑤アレルギー疾患を持つ子どもの災害対策 アレルギー支援ネットワーク中西里映子さん

対象 0歳から高校生くらいまでのお子さんと家族

子育てや防災に関わる方、関心のある方

あま市周辺(海部郡、津島市、稲沢市、など)にお住まいの方で 関心のある方も参加可能です。

申し込み あま市アレルギーの会 kayo-naka@i.softbank.jp

上記に参加者全員の氏名、年齢(子どものみ)、お住まいの地域、電話番号
を3月5日(日)までに送信ください。

お問い合わせ あま市アレルギーの会 kayo-naka@i.softbank.jp

認定NPO法人 アレルギー支援ネットワーク TEL 052-485-5208/ URL info@alle-net.com

11、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問い合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：<http://www.alle-net.com/>

12、Gooddo (グッドゥ) でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo (グッドゥ) に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。(クリックにお金はかかりません)

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。

ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

▼gooddo (グッドゥ) とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ： info@alle-net.com

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市 中村区 大秋町 2-45-6

▽TEL : 052-485-5208 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----